

会議録

会議の名称	令和2年度 第1回飯塚市社会教育委員の会会議
開催日時	令和2年6月30日(火) 15:00~16:07
開催場所	イイツカコミュニティセンター 3階 学習室303
出席委員	檜原 理香、後藤 直巳、井上 節子、山本 和生、 仲野 優子、下見 頼子、金 英子、池上 共子
欠席委員	小田原 嘉朋、竹川 克幸、
事務局職員	教育部長、生涯学習課長、文化課長、 生涯学習課長補佐兼中央公民館長、文化財保護推進室長、生涯学習係長、中央公民館・図書館係長、穂波交流センター長、庄内交流センター長、 瀬田交流センター長
会議内容	<p>1 開会 15:00</p> <p>2 委嘱状交付及び委員紹介 新型コロナウイルス感染防止の観点から省略 ・下見 頼子委員 飯塚市社会教育委員条例第4条に定める「家庭教育の向上に資する活動を行う者」に該当。飯塚市小中学校PTA 連合会より推薦</p> <p>3 教育委員会あいさつ(教育部長) 新型コロナウイルスの収束が見通せないなか、社会教育委員の皆様におかれましても大変なご苦勞をされていると思う。当中央公民館においても4月9日から5月24日まで閉館せざるを得ない状況であった。5月25日からはようやく開館し、各種事業についても「新たな生活様式」を取り入れ、再開していくこととしている。 飯塚市は教育の基本理念を、「本物志向・未来志向のひとづくりのために」と定め、教育活動における本物との出会いや体験を通して、多様な人々との協働の中で新たな価値を見出し、自己や社会の未来を自らの力で創造していく、次代の飯塚市を担う人材育成を目指している。 新型コロナウイルスは収束を迎えていないが、住民のニーズに沿ったよりよい社会教育事業を振興していくために、社会教育委員の方々をはじめ、地域でご活躍されている方々の、知識と経験に基づいた助言指導に期待するところが大変多く、本市の事業を実りあるものとして実施するために、委員の忌憚のないご意見をいただきたい。</p> <p>4 議題</p>

会議内容

(1) 令和2年度 飯塚市教育施策要綱について

配布資料に基づき事務局より主に生涯学習・文化振興関連部分について説明

【質問及び意見】

委員：1-1 【文化の振興】

文化の振興について、6項目掲げているが昨年度と変更はあるか。

生涯学習課長補佐：昨年度と同様である。

委員：飯塚の歴史に根差した素晴らしい活動であると思う。今後、新しい活動が加わることを願っている。

委員：新型コロナウイルスの感染防止のため中止になった事業があるかと思うが、その辺を教えてほしい。

生涯学習課長補佐：中止した事業については、年間計画の議題とあわせてご説明する。

委員：1-3 【文化財の保存・継承・活用】

目尾炭坑跡保存活用計画の策定について、国の指定になったと説明があったが、どのような活用計画になる予定か。

文化保護推進室長：まず、目尾炭坑跡が国指定となった意義として、近代化の先駆けとなった炭坑としてとらえている。今後の保存方法は、国指定になったことで公開をすることが第1目標である。今は、まだ埋まったままであるが、公開の方法として3案を考えている。1つ目は、そのままにしておき、ここに目尾炭坑があったとする方法。2つ目は、モニュメント（煙突、巻き上げ等）の設置。3つ目は、掘り起こし壊れないように保存措置を行い公開する。しかし、多くの人に見てもらおうという観点から歴史公園にする計画を進めていこうかと考えている。

委員：目尾炭坑はポンプが最初に導入されたのか。

文化財保護推進室長：その通りである。蒸気式のポンプである。ポンプを導入することで深く掘れるようになり筑豊の炭坑の近代化が進んだと言われている。

副委員長：1つだけ補足したい。教育施策要綱にライフステージの記

<p>会議内容</p>	<p>載があるか、これが何なのかという、別の資料にライフステージ別事業一覧表があるので、こちらを参照してほしい。</p> <p>(2) 令和2年度 生涯学習関係課組織図及び所管事務について 配布資料に基づき事務局より組織図、施設の概要及び所管する事業について説明</p> <p>【質問及び意見】</p> <p>副委員長：歴史資料館と旧伊藤伝右衛門邸の入館者数が減少しているが対策等は考えているか。</p> <p>文化課長：例年、若干入館者数は減っている状況である。特に2月、3月頃から新型コロナウイルスの関係で自粛要請、休館期間の発生から入館者数が減っている。特に旧伊藤伝右衛門邸については、バスで来られる団体客の自粛のため入館者数が減っている。新型コロナウイルスの影響が無くても例年と比較すれば徐々に毎年減っている。企画展の内容等を工夫して来館者を増やす取組をしたいと考えている。</p> <p>(3) 令和2年度 生涯学習関係事業年間予定について 配布資料に基づき事務局より主に新規事業及び内容変更等のあった事業について説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生涯学習係主管事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「放課後子ども教室推進事業」及び「熟年者マナビ塾事業」 新型コロナウイルス感染拡大による休止、事業開始の予定 ・「飯塚市少年の船事業」 新型コロナウイルス感染拡大による事業中止 ・「レクリエーションスクール」 事業の課題及び今後の方針 ・「飯塚市庄内生活体験学校事業」 宿泊を伴う通学合宿の中止、新規事業である幼児の野外生活体験活動支援事業の説明 ●中央公民館・図書館係主管事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「公民館等サークル」 新型コロナウイルス感染拡大による影響、開始状況 ・「図書館事業」 新型コロナウイルス感染拡大によるサイエンスモールを含む各種事業の中止・休止、新規事業である「一日図書館職員体験」、「読書スタンプ帳」の説明 ●文化課主管事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「デジタルミュージアム整備事業」
-------------	--

<p>会議内容</p>	<p>旧伊藤伝衛門邸の建物内と庭園を3次元撮影のうえ、多言語解説を付した360度のパノラマビューコンテンツを整備し、インターネット上に公開</p> <p>●補足：新型コロナウイルス感染拡大により休止、中止した事業（一部）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「飯塚新人音楽コンクール」中止 ・「飯塚総合文化祭」中止 ・「アジア太平洋こども会議・イン福岡」中止 ・「サニーベール交流事業」中止 <p>【質問及び意見】</p> <p>副委員長：山城サミットは中止になったのか。</p> <p>文化課長：中止と記載していたが延期の方向で検討している。今年度の開催は難しいと思うが、来年度に延期できればと考えている。</p> <p>副委員長：時期は秋で変わらないか。</p> <p>文化課長：同じ時期で検討しているが、決定ではない。</p> <p>委員：デジタルミュージアム整備事業はどのくらいの予算がかかるのか。何故かと言うと、他にも飯塚市の文化財等をこのような形で公開してもよいのではと考えているから。</p> <p>文化課長：まず昨年度、歴史資料館内にある資料の一部のデジタル化、市内にある遺跡をインターネット上の地図で検索できるシステム、古い地図を高精細で拡大して見ることができるシステム、収蔵物を3Dで見ることができるシステムの整備を行った。その費用が一千万である。今年度予定しておく、伊藤邸のパノラマビューについては250万円程度である。</p> <p>委員：今後、増やしていく予定はあるか。</p> <p>文化課長：現在の予定としては、来年度は飯塚市内の小学校、中学校で使える学習コンテンツの整備を予定している。令和4年度は、資料館の収蔵資料の追加のデジタル化を予定している。</p> <p>委員：秋ごろのイベントはどうなっているか。</p>
-------------	--

会議内容

副委員長：逆に委員の皆さんが抱えているイベントはどうか。

委員：文化祭は秋だが、練習ができない状況のため中止が決まっている。

委員：飯塚市のスポーツ協会は7月までは全部中止にしている。8月の市民総体に向けては実施で動いている。コロナウイルスの第2波、第3波が来たときはわからないが。活動が無いと足腰が弱り病気になる人が出てくる。私たちが社会教育のリーダーだから少しずつ動いていかないといけないと思う。行政も大変だと思うが、早めに中止と決定せずやっていただいたらと思う。

副委員長：私は、市の子ども会から出ているが、子ども会も多くの活動を中止にしてきた。10月ぐらいにジュニアリーダーの合宿を考えていたが、合宿ではなくて野外で人数をしぼってデイキャンプという形でやろうかと考えている。子どもは子どもたちの活動の場を提供したいと思っているし、それは皆さんも同じだと思う。今は、それぞれの場所でできることをやっていくしかないと思う。

副委員長：コスモスコモンやコミュニティセンターで事業を行うときに非接触型の体温計をお借りすることはできるか。

文化課長：コスモスコモンについては、基本は利用者に検温等をお願いしているが、施設としても非接触型の体温計を準備しており貸し出しもできると聞いている。コスモスコモンについてはご相談をしていただければと思う。

委員：コスモスコモンで主催事業をしていて、参加者の中には高齢者の方もいらっしゃる。参加者の新型コロナウイルス感染の心配があり、主催者としての責任も感じている。そういった相談ができれば助かる。

委員：体温が何度以上あると利用を制限する等の設定をしているのか。

文化財保護推進室長：歴史資料館、旧伊藤伝右衛門邸の入館者には検温を実施している。37.5°以上の体温がある方は入館をお断りしている。機器による誤りがないうよう37.5°に近い体温の方は検温箇所を変え

たりしている。

生涯学習課長：体温計は事業課で準備ができれば一番良いと思う。しかし、新型コロナウイルスが発生し国は国民に「新たな生活様式」を求めている。我々が推進する社会教育においても、それに対応した形でなければならないと思う。利用者サービスとしてすべてを提供できれば良いと思うが、利用者として準備できるものも考えていただきたい。すべての準備は難しいのでその点は社会教育事業を推進するうえでご理解いただければと思う。

(4) 令和2年度 社会教育関係団体の登録見込について
配布資料に基づき、事務局より説明

- ・昨年度、登録申請が13団体。今年度は6月19日現在、継続申請団体が10団体。昨年申請のあった2団体は今後申請見込あり、1団体は解散済み。

【質問及び意見】

なし

会議内容

(5) 各種研修会について

資料に基づき事務局より説明。今後の研修予定及び各種研修会の情報を伝達

- ・筑豊地区市町村社会教育委員研修会は今年度飯塚市が担当。社会教育委員の協力を依頼
- ・九州ブロック社会教育研究大会は沖縄県で開催。参加は5名まで。

【質問及び意見】

副委員長：第2回会議は10月、第3回会議は3月開催でいいか。

事務局：第2回は10月か11月頃、第3回は3月頃を予定している。

(6) 飯塚市の生涯学習体系について

令和元年度版を配布。平成30年度版との変更点をまとめた資料をあわせて配布し事務局からの説明を省略させていただく。

【質問及び意見】

なし

	<p>(7) 社会教育委員の任期満了について（資料なし） 任期が令和2年7月31日で満了する旨を説明。新任委員の選考状況を報告</p> <p>【質問及び意見】 なし</p> <p>(8) その他 なし</p> <p>6 閉会 16:07</p>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・会議次第 ・飯塚市社会教育委員・教育委員会名簿 (1) 令和2年度 飯塚市教育施策要綱について (2) 令和2年度 生涯学習関係課組織図及び所管事務について (3) 令和2年度 生涯学習関係事業年間予定について (4) 令和2年度 社会教育関係団体の登録見込について (5) 各種研修会について (6) 飯塚市の生涯学習体系について
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 1 公開 2 一部公開 3 非公開 (傍聴者0人)
その他 (非公開理由等)	